

パナルピナの第1四半期業績 カルテルの罰金で最終赤字に

■同社プレスリリース 5・4

スイスの大手フォワーダーであるパナルピナは、航空貨物に関してEU（欧州連合）およびスイスの反トラスト法に違反したとして、五九〇〇万スイスフラン（CHF、四八億九七〇〇万円）の罰金を支払った。そのため、二〇一二年の第1四半期業績は四〇〇〇万CHFの赤字に陥った。売上高は前年同期比六・八%減の一五億三九八〇万CHF、営業利益は二・五%減の三億七三〇〇万CHFとなった。同社はカルテルに対する裁定を不服とし、EU司法裁判所に上訴する考え。

蘭CEVAロジスティクス NY証券市場に上場の準備

■ロイター 5・5など

投資ファンドのアポロ・マネジメント傘下にあるCEVAロジスティクスが、ニューヨーク証券取引所に上場する準備を進めている。ただし、有価証券の発行に当たって投資家に交付する目論見書では、株式の公募・売出数や公募価格、公開時期などが空欄のままとなっている。

現在、アポロはCEVAロジスティ

クス株式の九一%以上を保有している。アポロは二〇〇六年にオランダのTNTからそのロジスティクス部門を一九億ドルで買い取り、現社名に変更した。〇七年には米国テキサスに本社を置くEGLを二〇億ドルで買収し、CEVAの傘下に収めた。

CEVAの直近の業績は売上高が六八億九五〇〇万ユーロ（六八九五億円）、税引き前損失が一億九一〇万ユーロとなっている。これは同社がアポロによる買収時の費用を負担しているためで、負債の総額は二七億ドルを超えている。現時点では上場が可能なのか、また上場によってどのぐらい資金を集めることができるのかについては不透明な部分が残る。

DBシエンカー

シームスからセンター業務受注

■同社プレスリリース 5・7

ドイツ鉄道の3PL部門であるDBシエンカーは、ドイツの大手メーカーであるシームスとロジスティクス業務に関する契約を結ぶことで合意した。

シームスは現在、世界的なSCMの再編に取り組んでおり、ロジスティクス企業やサプライヤーをこれまでの実績に基づいて絞り込もうとしている。DBシエンカーはロジスティクス企業としては最初にシームスと

契約を結んだという。

CATロジ株の過半が売却へ 投資ファンドに七・五億ドルで

■AP通信 5・10

米キャタピラーは、一〇〇%物流子

会社であるキャタピラー・ロジスティクス・サービシーズの株式の六五%を未公開株への投資を行うプラチナ・エクイティに七億五〇〇〇万ドル（五九二億五〇〇〇万円）で売却する。残りの三五%はキャタピラーが保有する。CATロジは、株式売却後もキャタピラーのロジスティクス業務を引き続き行う。同様に、キャタピラー以外から受託している補修部品のSCM業務についても従来通りとなる。

CATロジはこれまで二五年以上にわたって親会社に業務を提供してきただけでなく、五〇社以上への外販実績を持つ。外販の主な荷主は、FGウイルソンやパーキンス、ソーラーやキャタピラー・ジャパンなど。

UPS

TNTの買収資金を確保

■同社プレスリリース 5・11

UPSは、オランダのTNTエクスプレスの買収資金の調達について発表した。三月一九日の発表を受け、TNTの全株式を一株当たり九・五

ユーロで買い付けると、買収総額は五一億六〇〇万ユーロ（五一六〇億円）となる。UPSは、そのうち三七億ユーロを手元資金から支払い、残りは現在取引のある金融機関からの借り入れによって賄うため、十分な資金を確保できたとしている。

DHLフォワーディング

ブリュッセル空港に新センター

■同社プレスリリース 5・14

ドイツポスト傘下のDHLフォワーディングは、二七〇〇万ユーロ（二七億円）を投じ、ベルギーのブリュッセル空港に延べ床面積五万四〇〇〇平方メートルの新センターを稼働させる。そのうち物流センターとして使用するのは二万三〇〇〇平方メートルで、残りは事務所などとなる。

同社は新センターに航空貨物の業務を集約して効率化を図る考え。センター内には一七五〇平方メートルの温度管理スペースも設ける。

仏ジオデイス・ウィルソン

アジアの海上貨物輸送網を強化

■同社プレスリリース 5・15

フランス鉄道傘下のフォワーディング会社であるジオデイス・ウィルソンは、中国をはじめシンガポール、マレーシア、タイ、インドネシアなどアジア

ア域内の海上貨物の輸送網を拡大している。

例えば、シンガポールから中国までの輸送ルートの距離は約六〇〇〇キロメートルに及び、輸送日数は六〜七日となる。荷主企業は、FCL (Full Container Load: フルコンテナ本分の貨物) とLCL (Less Than Container Load: コンテナ一本に満たない混載貨物)、いずれの輸送も選択可能。

英ウインカントン

セインスベリーと契約更新

■同社プレスリリース 5・17

英国のロジスティクス企業であるウインカントンは、同国の大手小売りチェーンのセインスベリーとSCMに関する契約を三年間更新した。同社はこれまでノーザンプトンなどの物流センターの運営を行っていたが、今回ロンドン南東部のテムズサイドの物流センターの業務も受託した。

キューネナナゲルが英国で

パブ・チェインから業務受託

■同社プレスリリース 5・21

スイスの大手ロジスティクス企業であるキューネナナゲルは、英全土で八〇〇店舗のパブをチェイン展開するスピリット・パブ・カンパニーから

食品と飲料のSCM業務を受注した。

スピリット社は、「シエフ&ブリューワー」や「フレイミング・ガール」など複数の店舗ブランドを展開し、急成長を続けるチェイン。キューネナナゲルは、スピリット社にサプライチェーンに関するプラットフォームを提供し、サプライヤーとのコミュニケーションや協力体制を改善することが要求される。そのためITを活用し、店舗の売り上げ推移や在庫情報を川上に伝えることで、より正確な生産計画の策定や需要予測を可能にする。加えてキューネナナゲルは、ロンドン近郊とマンチェスターにある二つの物流センターの業務を管理する。両センターの総床面積は計一万八〇〇〇平方メートル。週六日稼働し、生鮮品と冷凍品、常温品を二〇〇〇本のラインで処理している。同社は六〇台の車両を使用し、一店舗に週三回配達する。

仏ノルベール・ダントレサングル

英ネット通販大手と一〇年契約

■同社プレスリリース 5・21

フランスの大手ロジスティクス企業であるノルベール・ダントレサングルは、英国のインターネット通販大手、シヨップ・ダイレクト・グループとSCM業務の受託に関して一〇年契約を結んだ。

シヨップ・ダイレクトは、「リトルウッズ」や「ベリー」といった複数のブランドを展開している。直近の売上高は一七億ポンド(二〇九一億円)で、約五〇〇万人の顧客を抱える。ノルベール・ダントレサングルは作業員二人で運ぶ大型家具や白物家電などを取り扱い、商品の荷受けから品質検査、ピッキング、返品業務までを行う。

大型家具の業務には北ウエールズにある同社の倉庫、白物家電の業務ではリバプール近郊の倉庫を利用する。九〇万平方フィート(八万一〇〇〇平方メートル)のスペースを使用し、取扱件数は年間三〇〇万件の予定。

プジョーの物流子会社ジェフコ

ジオデイスなど六社が買収の意向

■ブルームバーグ 5・22など

フランスのプジョーシトロエングループ(PSA)の物流子会社、ジェフコの売却計画に対し、フランス鉄道傘下のジオデイスやアクサ・プライベート・エクイティなど、少なくとも六社が買収に関心を示している。

PSAの関係者によると、関係各社には五月二十五日までに入札金額を提示するように依頼しているという。上記の二社以外に名前が挙がっているのは、アポロ・グロバール・マネジメントやPAIパートナーズ、VCV

キャピタル・パートナーズといったファンド系企業だ。

PSAは二月、五億ユーロに相当するジェフコの資産を売却すると発表。PSAによると、ジェフコの二〇一一年の売り上げは前年比十一%増の三七億八〇〇万ユーロ(三七八〇億円)で、営業利益は二〇%増の二億二三〇万ユーロ。営業利益率は五・九%とロジスティクス業界では高水準となっている。

米フェデックス

ブラジルで宅配業者を買収

■同社プレスリリース 5・29

フェデックスは、ブラジルの宅配業者であるラピドー・コメタ・ロジスティカ社を買収した。

ラピドー社は同国最大のロジスティクス企業の一社で、過去十一年にわたってフェデックスの下請け業務を行ってきた。在庫管理から陸上・航空貨物輸送、B to Cの輸送業務などさまざまなサービスを提供しており、特に医療品分野に多くの荷主企業を持つ。ブラジルに四五カ所の事務所と一四五カ所の配送センターを構え、車両・トレーラーの台数は計七七〇台、従業員数は約九〇〇〇人。

今回の買収により、フェデックスのブラジルでの従業員数は五〇〇人から九五〇〇人に急増する。



換算レート：1ユーロ=100円、1ドル=79円、1スイスフラン=83円、1ポンド=123円